



Urawagakuin
High School
Official
Homepage
Topics



2017.11.10 * vol. 63

Topics 高校生の自立と家庭での食育
～保護者の会講演会～

編集：広報・企画局

11月4日(土)、本校視聴覚室にて、保護者の会主催による講演会が開催された。保護者約280名の方々が集まる中、講師として埼玉大学教育学部教授(教育学博士)の河村美穂氏をお招きし、「高校生の自立と家庭での食育」の題目のもと、学生の様子や研究結果、経験談をもとに、家庭における食育の重要性をご指導いただいた。食べることは、生命維持・健康保持、食文化の伝承、人間関係の構築等様々な機能があり食事から生きてきた様子が分かると言えるほど、食は人間として生きる力を育むことができる。親は、子の食欲(食べる方)や食べ物の変化から悩みや想いを察知することも一つ、また、つながる何かをもつ(異なる世代への理解をもつ)ことも重要である。生徒は毎日の食事に対し、作り手の気持ち、作る人への感謝を言葉に出すことが大切である。」と、食を通して繋がること、会話力や食べ物により自身の成長や活動源となる重要性を、保護者・生徒の両面から伝えてくれた。保護者は、額きメモを取りながら聞き、家庭で早速活かそうという眼差しが感じられた。



総合考察

- 対人関係は「居場所」の重要な条件である
- 「居場所」づくりは家庭での安心感が基盤となる



・学校でのケアによりリカバリーする
・学校外の場所を居場所にする
→ 子どもの話を聞き、見守るような大人の存在が必要